
ナツソラ-SummerSuger-

藤宮智尋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ナツソラ - Summer Sugar -

【Nコード】

N4677BA

【作者名】

藤宮智尋

【あらすじ】

あの日の夏

まだ15歳の俺はこの季節に

君に恋をした。

だけど

君は俺の届かないところへ行ってしまった。

あの夏から数年

また君と巡り会逢う事になる。

そんな彼、ほんじゅうそつまと本城湊馬と

彼女、涼原ソラ（すずはらそら）の数年に渡る

波乱と甘酸っぱい恋に満ち溢れる

恋の物語の幕が上がる。

気温30 越えのこの蒸暑い夏の中

毎年といつかここ2年のこの夏休みだけに図書室で勉強しに来ている。

他の人は旅行だの、遊びだの、家でのんびりしてるだので学校なんかに来ない。

何でだろ・
・
・
・
。

不思議とここに居ると落ち着くんだよな……。

誰も居ないはずなのに

まるで天使がどこかで俺をみている感じがして・・・。

・・・みたいな感じで毎日ここで真面目に勉強とか。

はぁ・・・。

現実には天使なんて

居るはずがない。

天使みたいな人が・・・。

「・・・現れたらなぁ・・・。」

ガラッ！！

0
2

サアア・・・

不思議だ

窓は開いてないはずなのに

どこからか風が吹いている

そして

ただ呆然と俺は

図書室の扉をただずっと見つめていた。

俺は不思議と口が動きこころ声をかけた。

「だ、誰か居るのか？」

すると

図書室の扉から

天使のような少女が入ってきた。

少女の格好はこの学校の制服を着ていて、髪は腰まで長く、髪色はモンブランブラウンみたいな変わった色をしていて、目は綺麗なブルーの瞳で、身長は低く華奢な体系をしている。

俺の前にそんな天使のような少女が舞い降りてきたみたいに現れた。

転校生…なのかな…？

俺は少女に尋ねてみた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4677ba/>

ナツソラ-SummerSuger-

2012年1月13日18時49分発行